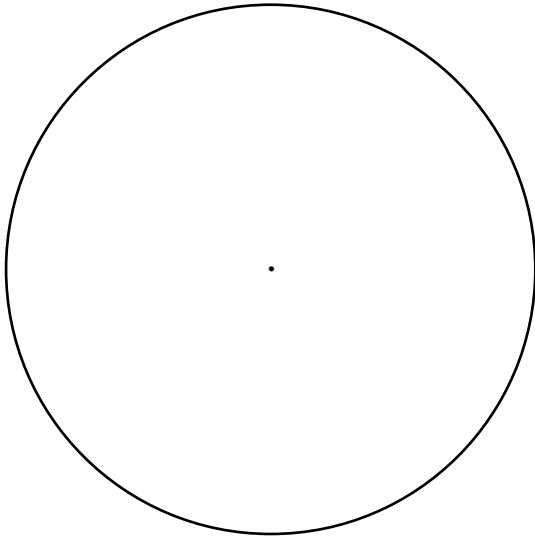


1 円を使って、正八角形をかきましょう。また、どのようにかいたか説明しましょう。【思・判・表】



(説明)

2 にあてはまる言葉を書きましょう。

(1) 正六角形は、6つの がすべて等しく、6つの

もすべて等しい である

(2) 円周 = ×

3 次の長さを求めましょう。

(1) 半径 8 cm の円の周

(式)

答え _____ cm

(2) 円周が 37.68 cm の円の直径

(式)

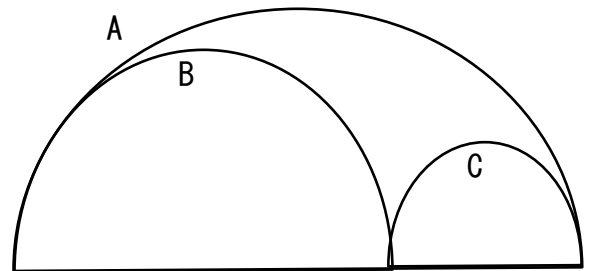
答え _____ cm

(3) A は直径 10 m、B は直径 7 m、C は直径 3 m のそれぞれ半円です。

【思・判・表】

A の半円の周りの長さ と B と C の半円の周りの長さを合わせた長さをそれぞれ求めましょう。気づいたことを書きましょう。

(式)

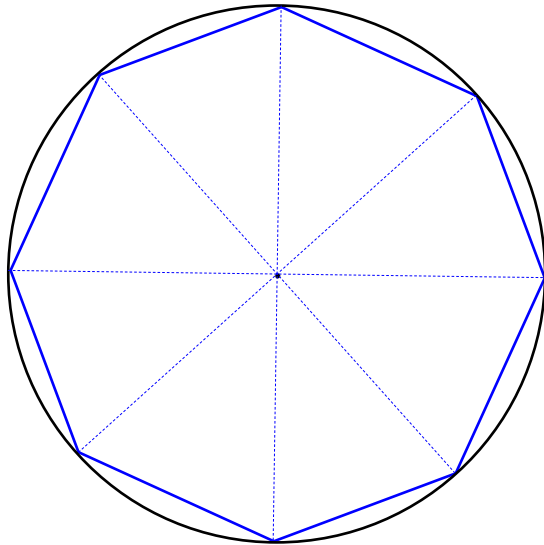


答え A _____ cm B と C _____ cm

(気づいたこと)

小5 算数「円と正多角形」 解答・解説

1 円を使って、正八角形をかきましょう。また、どのようにかいたか説明しましょう。



(説明)

正八角形は、円の中心のまわりを8等分して、 45° になるように半径を順にかき、そのはしの点を直線でつないでかくことができます。

2 にあてはまる言葉を書きましょう。

(1) 正六角形は、6つの がすべて等しく、6つの

もすべて等しい である

(2) 円周 = ×

3 次の長さを求めましょう。

(1) 半径8 cmの円の周

(式) $8 \times 2 \times 3.14 = 50.24$

答え 50.24 cm

(2) 円周が37.68 mの円の直径

(式) $37.68 \div 3.14 = 12$

答え 12 cm

(3) Aは直径10m、Bは直径7m、Cは直径3mのそれぞれ半円です。

Aの半円の周りの長さとはBとCの半円の周りの長さを合わせた長さをそれぞれ求めましょう。気づいたことを書きましょう。

(式) A $10 \times 3.14 = 31.4$

B+C $7 \times 3.14 + 3 \times 3.14 = 31.4$

答え A 31.4 cm BとC 31.4 cm

(気づいたこと)

Aの周の長さとはBとCの周の長さの長さは等しい。図だけを見ただけでは、すぐには等しいことはわからないが、式を見るとわかる。

$7 \times 3.14 + 3 \times 3.14 = (7 + 3) \times 3.14 = 10 \times 3.14 = 31.4$

